

1. 研究課題名

腹膜透析カテーテル挿入後のクロルヘキシジン含有ドレッシング材による出口部管理に関する後ろ向き研究

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、腹膜透析(PD)を開始する際にカテーテルを挿入し、その出口部の管理にクロルヘキシジンを含むドレッシング材(BioPatch®)を使用した患者さんを対象とします。診療記録を用いて、カテーテル挿入後30日以内の感染症の発生状況、皮膚症状などの有害事象、BioPatch®の使用継続状況を調査することにより、今後の腹膜透析カテーテル挿入後の適切な出口部管理に役立つ知見を得ることを目的としています。

研究期間は承認日から2027年3月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2014年1月から2023年5月までの間に、日本赤十字社医療センターで腹膜透析を開始し、腹膜透析カテーテル挿入後の出口部管理にBioPatch®を使用した患者さんの診療記録を利用して行います。現行では、この期間にBioPatch®を使用した163名を研究対象としています。利用する情報は、年齢、性別、身長、体重、腹膜透析の原因となった腎臓病、併存疾患、血液検査結果、カテーテル挿入に関する情報、周術期の抗菌薬使用状況、カテーテル挿入後30日以内の感染症の発生状況、BioPatch®使用に伴う皮膚症状、使用中止・他のドレッシング材への変更の有無およびその理由などです。利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。本研究は、すでに診療の過程で得られた情報のみを利用するものであり、研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 腎臓内科 寸村玲奈(研究責任者)

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604

担当：【腎臓内科】 寸村 玲奈